



1年生になったよ!

4月10日(木)

生駒東小学校他

市内の小学校12校で入学式が行われました。生駒東小学校では106人が入学し、新生活への第一歩を踏み出しました。保護者や上級生が見守る中の入場に、最初は緊張していた様子の新1年生も、先生から名前を呼ばれると元気いっぱいの返事。これから始まる学校生活に期待を膨らませていました。



市民共同発電所が稼働スタート

3月28日(金)

エコパーク21

エコパーク21の屋根に太陽光パネル273枚を設置した「市民共同発電所1号機」の完成式が行われました。投資額1,700万円を全額市民出資によって賄った発電所は奈良県で初めて。ECO-net生駒のエネルギー環境部会の皆さんが中心となって設立した市民エネルギー生駒の皆さんが運営されます。



花や樹木で生駒の景観を育てたい

4月15日(火)

鹿ノ台西3丁目

緑豊かで美しい景観まちづくりを目標に、緑地の林内整理など継続的に取り組んでいる鹿ノ台自治連合会(ÉCOKÁ委員会)。元会長の山田勲さんは「まちなかふろーらむのボランティアと、このガーデンに3,500個のチューリップの球根を植え、育てました。行政と魅力的な景観をつくりたい」と話しました。



市民の命を救う新拠点が完成

3月28日(金)

消防署北分署

老朽化していた北分署(高山町)と鹿ノ台分署を統合し、北大和に新庁舎を建てました。大規模災害に対応するため、自家発電設備や資機材備蓄庫などを備えています。また、庁舎屋上に太陽光発電システムを設置するなど、環境にも配慮した施設で、北地区の新たな防災拠点として稼働します。



新たな市の顔にようこそ

4月20日(日)

ベルテラスいこま

近鉄生駒駅直結の、新たな市の顔となる施設、ベルテラスいこまがグランドオープン。ベルステージでは、式典や演奏などが行われ、訪れた約5,000人が見守りました。市のアンテナショップ「おちやせん」や図書室、各テナントには、オープンを待ちわびた人たちが行列ができていました。



地元で楽しむ桜の通り抜け

4月7日(月)

あすか野住宅街

例年、桜が咲き誇るあすか野の緑道や広場。コミュニティパーク事業などを利用し、開花時期の異なる約30種類の桜を新たに植樹しました。今後も桜を増やし、市域を超えた桜の名所になってほしいと、地域で「桜を守る会」を立ち上げ、見守っています。訪れた人は「桜が増えてきれい」と話していました。